

暮らしの安心と安全

問

美山診療所存続の問題については、医師を確保するのに公設民営は非常に難しい。これまで随分財政的に支援いただいたが、やはり、公設民営を公営的なものにするなど、確実に医師が確保できるような対応策をとっていただきたい。尾寄先生の犠牲の下に十数年間維持できてきた美山診療所を、何とか存続できるように前向きな対応策をお願いしたい。(京都丹波高原国定公園V.C)

答

美山診療所は残していきたいと考えているが、入院の他、往診も行い、外来も診る、そして介護施設などに向かうというような、尾寄先生と同じ仕事を引き継ぐ医者探しは困難である。現状の業務を今後も引き継ぐのか、あるいは外来診療を中心にして診療所を残すことを最大の目標に医者を探すのか、あるいはもう少し経営的に安定できるような入所・入院施設などを拡大するのかなど、その3点くらいはかかっている。皆さんのご意見をいただきたい。

ながら、同じ体制でいけるのか見極めていきたい。



▲存続の方法が検討されている美山診療所

問

今年は災害が非常に多く、特に知井地区では河内谷の浄水場が被災した。今のところ住民努力によって節水対策などをしているが、具体的な対策が見えてこない。今後も長期化した場合、具体的にどのような対策を考えておられるのか。また、現在の対応についてもお聞きしたい。(京都丹波高原国定公園V.C)

答

以前、浄水場の施設を統合して給水能力を上げる計画もあったが、計画がまとまらなかった。その後、美山町自然文化村や北集落への来場者が増え、水の使用量も増えたことで浄水場の給水能力を上回る負荷がかかっている。そのため、文化村を切り離して、独自の水源を確保しよう

と、井戸を掘るなどの調査をしている。また、北集落の観光客のトイレについては、浄化したものでなく、中水で供給しようと考えている。(上下水道部長)中長期的な取り組みとしては、北集落内の公衆トイレを上水道から切り離すことを検討している。具体的には放水銃の水源の活用や近隣の谷川の水を活用するなどを検討している。また文化村では、新たな水源を求めながら、施設専用の水道を設置することで、既存の上水道の安定供給を図りたいと考えている。短期的な取り組みについては、土・日を除くほぼ毎日、浄水場の水質を囑託職員が確認しており、先日もある過池の砂を補充したところ。今後、ろ過水の一層の安定供給に努めたい。

問

7月豪雨の際、雨量が150mmを超え、府道19号線のたて壁付近で通行止めとなり、日吉町の広域農道を迂回することになった。たて壁付近で工事にも進められているが、異常な降雨が頻繁に発生しているため、何とか日常的に通れるようにしたい。(美山文化ホール)

答

たて壁の問題については以前からバイパス計画を要望している。また、現状としての安全対策についても求めている。現在も改修工事が進んでおり、できることは対応していただいている。さらに7月豪雨では、京都・大阪方面につながる幹線道路が通行止めとなり、亀岡市、南丹市、京丹波町が孤立することになった。国策として、国道9号のダブルルート化をお願いしている。



▲工事が進む府道19号園部平屋線

問

八木駅を利用しているが、階段も非常にきつく使いづらさを感じている。八木駅舎改築の進捗状況をお聞きしたい。(氷室の郷)